

法乃了



やくよけ祖師 堀之内 妙法寺

〒166-0013 東京都杉並区堀之内 3-48-8

Tel: 03 - 3313 - 6241

Fax: 03 - 3313 - 5007

<http://www.yakuyoke.or.jp>



表紙 浄行堂 じょうぎょうどう

記録が現存していないため詳細は不明ですが、建物の様式等から18世紀中期から後期頃の建立と推測されます。当初、祖師堂東側の手水舎として建立された後、建て替えと移築を経て、現在の浄行堂となりました。

浄行菩薩のお身体を清水で洗い、祈願することにより病気平癒・身体健全などのご利益が得られます。

建立より250年もの歳月を重ねる、妙法寺屈指の歴史ある建物を後世に伝えるため、昨年、保存改修工事が行われました。浄行堂前面階段と左側のスロープに手すりが設置されるとともに周辺の立木が伐採され、より多くの方に快適にお詣りいただけるようになりました。

保存改修工事にあたり、浄財をお寄せ下さった皆様に心より御礼申し上げます。

宗歌 しゅうか

日蓮聖人最晩年の弘安五年に詠まれた歌です。

「生涯を振り返ると、ほんとうに様々なことがあった。命を失わんとしたこともしばしばであった。しかし、この身延のお山は、釈尊が法華経を説かれた靈鷲山と同じ。木々を渡る風も、川の流れるも皆法華経の教え。今こうして身延の山で弟子、信徒に囲まれ、法華経に生かされる日々を送っている私の心は、実に安穩で豊かである。身も心も晴れ渡つてすがすがしい。」との思いがこの歌に込められています。

この歌は弘田龍太郎氏が作曲。現在、日蓮宗の宗歌となっています。

宗歌

日蓮聖人御詠

立ち渡る

身のうき雲もはれぬ

たえぬ御法みのりの鷲すずめの山風



新型コロナウイルスの感染症法上の分類が今年五月より2類相当から季節性のインフルエンザと同じ5類に引き下げられます。中国で発生した感染症が世界中へ、そして我が国へも寄港したダイヤモンド・プリンセス号の乗客に感染者があり、瞬く間に全国へと拡大して行きました。

当初、未知の病気でしたので、罹患した外国人の辛そうな表情で決して甘く見ないと訴える報道・著名人の逝去も出て、置き所の無い不安感漂う日々を送る事となりました。そして、陽性者の飛沫により感染する事で常にマスクを付けての生活が始まります。暫くすれば終息すると思っておりましたが、先が見えず、三年もの歳月が流れました。海外からの入国・国内からの渡航が制限され、経済が冷え込み、更にロシアによる世界の穀倉地帯であるウクライナへの侵攻により、穀物などの流通が停滞し、世界経済の悪化を招きました。又、この様な世界状況下でありながら国民の貧困をよそに核兵器開発に明け暮れる国家、人権を侵害しながら国を治め、他国へもその勢力を広めようとする国があります。自分本位な政治成果を自賛する前に人々が何より求めるものは、平和で穏やかな生活だと言う事を知るべきと思うのですが。立派な思想・理念を掲げた国家ながら、あまりにも歪曲され、治められている印象が残ります。日蓮大聖人のてんかたいへいこくどあんのん 天下太平国土安穩は君臣のくんしん 君臣のねが 樂う所、どみん 土民のおも 思う所也。夫国は法によつ 依てさか 昌え、ほう 法は人にひと 因てよつ 貴し。たつと “(立正安国論)とお言葉が脳裏にうかびます。

コロナ禍により、世間の生活習慣・価値観が変わったようですが、妙法寺の行事・縁日等も伝統を守りつつ、世間に合わせる必要があります。しかし、昨年の正月以後急激に増加した陽性者も、本年は終息しないまでも落ち着いた感がありましたので、節分追儺式は以前に近い形で奉行了しました。大過無く出来ましたので、今後の千部会・会式法會も



従来のように奉行出来るものと期待しております。檀信徒の皆様には益々の御支援・御協力を頂戴出来れば幸甚に存じます。

又、妙法寺で修行し卒林した学生、そして寺に残り職員として勤めてくれた青年僧が日蓮宗加行所に入行希望の為、退職したのですが、コロナ禍の為、開設出来ずにおりましたところ、此の度、漸く荒行堂に入行が叶い、妙法寺で生活した先輩・後輩となる六名の若者が初行として修行に臨みました。寒中、少しの睡眠、粥を啜り、薄い衣で身を纏い、日の大半を水行・読経に明け暮れます。その辛い生活を共にし、今迄とは異なる良い付き合いが出来る気がいたします。その中の一人、兄弟で学生として妙法寺で勉学・修行に努め、後に職員として残り、仕事をしてもらった青年が帰山式の案内を届けてくれましたので、お祝いに伺いました。下関市の郊外、山間のこぢんまりとした寺院で丹精の程が伺える佇まいでした。兄弟共真面目で人に好かれる様な好青年で、この様な環境で培われた人柄なのかと感じました。皆さんの心の込められた式だったと思います。

私が妙法寺の住職となり、多くの若者が檀林より巣立って行きましたが、初めて学生が育った寺を訪れる機会を得ました。青年僧となった彼等は、修行・研修を重ね成長し、地域に根付いて行くことでしょう。やがて妙法寺とは縁遠くなりますが、それは確りと彼等が地元で日蓮宗僧侶として、法華経弘通に精励している事だと思えます。同じ寺で御仏飯を食んだ皆と会えなくなれば寂しいものですが、私にとり何よりも嬉しい事なのだ、此の度荒行を成満した青年の郷里を訪れ改めて感じました。

長いこと新型コロナに翻弄されて来た寺の生活ですが、明るい兆しが見えて参りました。新たな気持ちで、今後在籍している職員・若い修行僧と共に妙法寺の伝統ある行事・法會をお護りして行きたいと願っています。是非、従来のように御支援・御協力を賜りたく存じます。





# 日蓮聖人の手紙

(三十六)

妙揚寺住職  
立正大学名誉教授  
東京立正短期大学名誉教授

北川 前肇

「去ぬる文永十一年二月に佐土の国より召し返されて、同じき四月の八日に平の金吾に對面して有りし時、理不尽の御勘気の由、委細に申し含めぬ。又恨むらくは此の国すでに他国に破れん事のあさましきよと、歎き申せしかば、金吾が云く、何の比か大蒙古は寄せ候べきと伺ひしかば、经文には分明に年月を指したる事はなけれども、天の御気色を拝見し奉るに、以の外に此国を睨みさせ給ふか。今年は一定寄せぬと覺ふ。若し寄するならば一人も面を向ふ者あるべからず。此れ又天の責也。日蓮をばわどのばら(和殿原)が用ひぬ者なれば力及ばず。穴賢穴賢。真言師等に調伏行はせ給ふべからず」

## 訳

「去る文永十一(一二七四)年二月に、私(日蓮)は佐渡流罪が赦免となり、佐渡国から鎌倉へ還つてきました。同じ年の四月八日に、執権北条時宗の有力な家臣、平左衛門尉(金吾)頼綱(一二九三)と幕府において対面いたしました。そのとき、四ヶ年前、私にくださった「佐渡流罪」という罪科は、道理に合わない処罰であることを、詳細に申しのべました。また、私どもの居住している日本国が、すでに隣国の大蒙古(元)軍に攻め滅ぼされるという運命にあることがなげかわしいことです、と悲しさを申し伝えました。すると、頼綱は、元が攻め寄せてくるのはいつ頃でありましょうか、とたずねましたので、お釈迦さまのお経には、明らかにその年月を説き示されています。しかし、天のありさまを拝見いたしますと、思いもよらないことに、日本国を目をいからしご覧になられているようかかええます。今年はかならず攻め寄せてくるでしょう。もし、攻め寄せてくれば、だれ一人として面と向かつて戦える者はありません。他国から攻められるのは、天の神々からの叱責です。日蓮の諫めのことばを、あなた方が受け入れないことに原因があるのですから、私の力では、どうすることもできません。けつして、けつして、真言師等の祈祷によつて元の退散をいたしてはなりません」

(建治三(一二七七)年六月・『下山御消息』・昭和定本一三三四～五頁)

## 解説

日蓮聖人は五十歳の文永八(一二七一)年十月十日、愛甲郡依知郷(神奈川県厚木市)を發つて、佐渡へと向かわれました。そして、四年後の文永十一(一二七四)年二月十四日、鎌倉幕府から赦免状が下され、その赦免状が三月八日、佐渡の聖人のもとへ届けられました。三月十三日に出発され、三月二十六日、鎌倉へと還られたのです。今年は、七五〇年目に当たります。

同年四月八日、聖人は執権北条時宗に仕える重要な役職の平左衛門尉頼綱に對面されることになりました。聖人は、はつきりと「佐渡流罪」の処置が道理に違背し、「御成敗式目」(貞永式目)にもとることを詳細に述べられたのです。金吾は、第一の関心事である「元軍」がいつ日本国に侵攻するのかを問うのです。そこで聖人は、今年必ず攻めてくることを明言されて退席されます。これが日本歴史の「文永の役」です。

この文章は、身延の聖人に帰依していた因幡房日永の父・下山兵庫五郎に対して、日永の信仰の正しさを表明されたものです。



日蓮宗の寺院は、全国に約五千ヶ寺あります。その中でも、特に縁の深い寺院のつながりを「法縁」と呼んでいます。ここでは、堀之内妙法寺を中心とする「堀之内法縁」に属する寺院を紹介していきます。

# 寶榮山 妙法輪寺

当山は山号を「寶榮山」、寺号を「妙法輪寺」と称し、石川県は能登半島の丁度真ん中あたりに位置する羽咋郡宝達志水町にあり、日本海と宝達山に囲まれ、その里山里海が二〇一一年に世界農業遺産に認定されるなど、大変自然豊かな場所にあるお寺です。

開山は鎌倉時代の永仁二年(一二九四年)、

北陸一円弘通の祖とされている、宗祖日蓮聖人の孫弟子・龍華樹院日像上人により開かれました。日蓮聖人より帝都弘通のご遺命を託された日像上人は、お祖師様ご在世当時の足跡を辿るべく、流罪の地であった佐渡島に向かい、その後佐渡島から能登半島へと渡って来られます。そして京都へ向かうと道中、当地によられた際、病で苦しんでいた法華堂五兵衛という者に当病平癒のご祈禱を行います。すると、日像上人のご祈禱によって見事、病を治癒し、その法力に感服した法華堂五兵衛は、自身の菩提寺であった真言宗・法輪寺へと日像上人を



住職 大森教裕



▲妙道院日光上人揮毫による寺号額

◀再建された新本堂と客殿

▼以前の本堂



連れていき、法輪寺住職の哲源と法論を交わすこととなります。そして、日像上人が説かれる、法華経の教えに論伏した哲源は、



法華への改宗を決意し、自らの名を日源阿闍梨とし日像上人の弟子となりました。ま



▲御宝前の日蓮聖人像

た寺号も法輪寺に「妙」の一字を加えた「妙法輪寺」と改め、開山に日像上人



◀開基・日源阿闍梨像

再建のための浄財を集めて頂き、その想いが結実し、事業を円成することが出来ました。

境内には、本堂脇に隣接して守護神堂である妙見堂があり、堂内には北辰妙見大菩薩・鬼子母神・十羅刹女・七面大明神・三光天子が祀られています。また、山道脇に三十番神堂と最上稲荷堂、浄行堂と鐘楼堂があります。そして、本堂正面に掲げられている寺号額と参道入口の石碑は、北陸本山金榮山きんえいざん妙成寺第六十三世・総本山身延山久遠寺第九十一世である妙道院日光上人揮毫によるものです。

を仰ぎ、自身は開基として妙法輪寺の護寺に努められました。そのような縁起がある、歴史の深い寺院で、能登法華の基盤を築いたと伝えられています。

昨年、宗祖日蓮大聖人降誕八百年事業の一環として、本堂・客殿の再建工事を完了し、三三〇年前に建立された本堂が一新されました。これは、お寺と檀信徒の長年にわたる悲願であり、関係有縁の方々にもご協力を賜り成し遂げることが出来た、大変有り難く尊い大事業です。好景気とは言いづらい世情の中、檀信徒が一丸となり約二十年前に積立を初めてくださり、コツコツと



◀鐘楼堂と三十番神堂(手前)と最上稲荷堂(奥)

▶参道入口の石碑





▲県指定天然記念物  
「妙法輪寺のナンテン」

### 寶榮山妙法輪寺

【所在地】〒929-1342  
石川県羽咋郡宝達志水町麦生 2-196  
電話：0767-28-4780  
【交通】●JR宝達駅下車徒歩約20分

さらに当山は「ナンテンの寺」とも呼ばれており、日本一の大きさとと言われる、石川県指定天然記念物「妙法輪寺のナンテン」があります。高さは約七メートル、樹齢約四〇〇年と伝えられ、株数が二十八株と、法華經二十八品と同数であることから、大変靈驗あらたかな樹木とされています。以前はお寺の中庭にあり、中に入らなければ見ることが出来なかった

所を、今回の再建事業にあたり、外からも見られるよう景観を整え、参拝者の方にも見やすく整備をしました。能登にお越しの際は、是非ご参拝に合わせて、この「妙法輪寺ナンテン」もご覧ください。

# お祖師様と私

このコーナーでは、当山とゆかりのある方々をご紹介します。

## 第三十六回



有限会社 鈴木造園

すずき けんお  
鈴木恒夫さん

妙法寺のお祖師さま  
とのご縁が始まりました  
たのは、平成十年から

になります。前任の植木屋さんからの引き継ぎで、祖師堂前の雪の吊り外しという仕事から始まりました。  
この仕事は私にとって初めての仕事、植木

屋として勉強する機会をもらいました。その当時は、日朝堂の裏に奉納されていた燈籠、庭石が沢山あり、境内への据え付け工事や垣根工事もさせて頂きました。

その後、祖師堂平成大改修が完了、さらに四年後には御題目宝塔建立と、沢山の場面に関わらせて頂きました。そして、墓地の隣にある菖蒲の花のお世話など、松の雪吊り外しから、あつという間に二十四年が経ち、今に至っております。お正月に祖師堂の下足番のお手伝いをしていただいていた私の子供も今では二児の親となりました。

お祖師さまのおかげと思いつながら、これからも健康で細く長く植木屋として精進してまいりますと思っております。



# 堀之内 質問箱

その23

# 日朝堂

## Q 日朝堂ってなに？

妙法寺の本堂後ろに建つ日朝上人をお祀りするお堂です。

## Q いつ建てられたの？

最初の日朝堂がいつ建立された

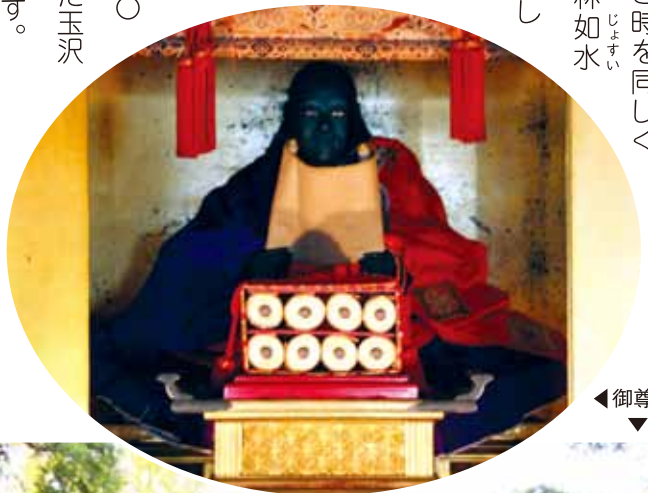


かは不明ですが、大火のあった明和六年（一七六九）以前には建立されていたと推測されます。現在の日朝堂は文政十一年（一八二八）、第二十世日憲上人の代に再建されました。間口四間、奥行五間の撞木造りのお堂です。

## Q 日朝上人のお像についておしえて

文政十一年（一八二八）、第二十世日憲上人の代、日朝堂再建と時を同じくして京都の仏師林如水により造立されました。この御尊像は、胎内にも日朝上人の御尊像が納められています。こちらは祖師堂の二天王像

（寛政二年一七九〇年開眼）も手がけた玉沢浄慶によるものです。



◀御尊像  
▼本堂外観





御尊像は玉眼が施され、法衣を纏い法華經の經卷を開き読むお姿をされています。これは、学業成就と眼病守護に功德をそそぐ尊いお姿を顕します。

### Q 日朝上人はどんな方ですか？

室町時代初頭の応永二十九年(一四二二)一月五日、現在の静岡県伊豆宇佐美で生まれました。身延山第十一世法主として久遠寺発展の礎を築いた方で、室町時代の代表的な教学者としても知られます。明応九年(一五〇〇)六月二十五日、七十九歳で入寂されました。

### Q 日朝上人の出家についておしえて

永享元年(一四二九)四月八日、八歳のときに身延門流の学僧である日出上人にっしやうのもと、剃髪し出家しました。

日出上人は、ある日、日蓮大聖人が「わたしに会いたいと思うならば宇佐美に行くがよい」と告げた夢を見て、さっそく宇佐美に赴いたところ、幼少の日朝上人と出会い、弟子として訓育することとなりました。日出上人が少年の髪を剃り落とそうとしたとき、傍らの盤水に日の光が差し込んで鏡のように澄み渡り、そこに「日蓮」の二字が浮かんだのです。そこで、日出上人は少年に「鏡澄」という字を付け、行学院日朝という法名を授けました。こうしたことから、日朝上人は日蓮大聖人の再来と言われるようになりしました。



◀◀ 堂内

### Q 日朝上人はどんな勉強修行をされたのですか？

出家した日朝上人は、その院号のとおり行学の二道に励み、十九歳のとき武蔵国の仙波檀林せんば(現在の川越喜多院)にて天台教学を学び、經典の注釈書、講義書の読誦や書写をされました。

二十一歳で師の日出上人に三島本覚寺を委ねられますが、向学心旺盛な日朝上人は、その後も各地で遊学を続けられ、下野の足利学校では儒学をはじめとする仏教以外の学問を修めた他、比叡山や京都・奈良で広く諸宗の教義を学びました。



このときに、京都を中心に法華経を弘めていた真如院日住上人と出会い、「日蓮大聖人の御書をよびよごつて、門下の和合を図るべきである」という話を聞き、このことを生涯の目標にしようとして決心されました。

◎ **日朝上人は身延山でどんなことをされたのですか？**

寛正三年（一四六二）、四十一歳で身延山久遠



▲絵馬  
▲大祭の様子



血を注がれました。毎月三日に「三日講問答」という教育の場を設け、日朝上人が質問項目をつくり、弟子たちがこれに答えるという形式で、問答を通じて教える身に付けるよう工夫するなど、学僧教育を確立されました。

◎ **どうして「眼病守護の日朝さま」とよばれるのですか？**

日朝上人は、永年にわたる止暇断眠のご精励から眼を患われ、視力を失ってしまいます。これを自らの不徳と懺悔し、益々不惜身命の精進を重ねられたところ、経力によって眼病は全く

寺の第十一世法主の座に就かれると、在職三十八年の間に数々の事業を成し遂げられました。

その代表的なものに諸堂の移転が挙げられます。当時、身延山の大方が古くなっており、また、身延山の西谷は湿気が強く手狭であることから、現在の久遠寺がある場所に諸堂を移し、伽藍の整備に尽力されました。

教学の面では、日蓮大聖人の御書を収集して目録を作ったほか、日夜にわたり眠りさえ惜しんで御書や法華経の解説書並びに日蓮大聖人の御一代記を著述され、大聖人への報恩の誠を捧げられました。このことから「学業成就の日朝さま」といわれるようになったのです。

さらには、門下の教育にも心血を注がれました。晩年、眼病守護の御本尊を顕し、眼病に苦しむ人々を守護し、平癒させるとの願を立てられたことから「眼病守護の日朝さま」として多くの人々から崇められるようになったのです。

◎ **日朝堂ではどんな法要が行われているの？**

日朝堂では随時、学業成就や入試合格、眼病平癒等をはじめとする各種御祈願を受け付けています。また、六月二十五日の御命日には、日朝上人大祭が奉行され、多くの参列者とともに報恩感謝の誠が捧げられています。

妙法寺

# かわら版

当山の行事やご祈願などをご案内するコーナーです。

## ◎法華千部会のご案内

本年も五月十日(水)～五月十三日(土)の期間、法華千部会を厳修致します。

法華千部会は、江戸時代より二百年を越えて行われている伝統行事の一つです。

法華経は巻部読むだけでも大変功德があるため、千部会の賛助者(千部施主)となる功德・ご利益は計りしれません。皆さまも千部施主の一人となり、その大きな功德を

いただき、やくよけ除厄安全・身体健全・心願成就などをお祈り致しましょう。

### 日程

■五月十日(水)

お経揃い……………十九時

■五月十一日(木)～十三日(土)

お経……………十時・十三時半

法話……………十二時

●千部施主 一名 五千円也

(お開帳・お経頂戴・お食事含む)

■五月十三日(土)

天童稚児音楽大法要 ……十三時半

●天童稚児 一名 五千円也

(貸衣装・記念写真含む)

※詳細は、別紙の申込書をご覧ください。

記事についてのお問い合わせは、お気軽に寺務所まで。  
《電話》〇三・三三三三・六四一  
社会情勢により行事内容が変更または中止になる場合がございます。  
くわしくはホームページをあわせてご覧ください。



祖師堂に集まった大勢の僧侶による「お千部」の様子



▲天童稚児音楽大法要のお稚児さん





## — 新盆会 —

四十九日の忌明け後、初めて迎えるお盆は新盆または初盆といい、特に丁寧な供養を営みます。当山では、新盆を迎えたお檀家様の各霊位を供養する法要を営みます。

お檀家の皆様と新盆会▼



■〈日時〉七月十三日(木)…十三時より

■〈場所〉本堂

※各家には、ご案内・申込書をお送りします。

## ◎ 孟蘭盆施餓鬼会

「孟蘭盆」は、目連尊者が母親を餓鬼界から救う話が由来となっています。

有縁無縁の霊、法界万霊を供養し、全ての生きとし生けるものに感謝する法要です。

■〈日時〉七月十六日(日)…十時より

■〈場所〉本堂

## ◎ 土用の丑ほろく灸

夏の「土用の丑の日」に行われる行事です。

頭痛は悪鬼の障りによって起こると信じられていた時代から、その障りを除くために始められたものです。



■〈日時〉七月三十日(日)

…九時～十六時(随時受付)

■〈場所〉祖師堂

●祈願料 一名 三千円より

目連尊者は、お釈迦様に教えられたとおり、修行僧たちをもてなして供養を施し、

その功德で母親を餓鬼界の苦しみから救うことができました。お釈迦様が説かれたのは、身内や自らが仏に成ることが目的です。



孟蘭盆施餓鬼会の様子▲

はなく、他人を導き救うことこそが自身の父母・先祖を救うことに繋がってゆくというものです。

「孟蘭盆施餓鬼会」は、先祖の霊と共に

## ◎ 千日紅繫和会

妙法寺では境内を開放し、千日紅繫和会主催のイベントが行われております。千日紅を通して、

ふれあうことの大切さや、おもてなしの心を育み、子どもから大人までお楽しみいただけます。



▲今年の千日紅花祭りの様子

■千日紅花祭り…七月二日(日)

■千日紅奉納祭…十月二十九日(日)

右記の  
お問い合わせ

千日紅繫和会(清水屋)まで  
電話 〇三—三三—一〇七二五



東京立正短期大学

# 創立百年に向けての日々

東京立正短期大学名誉教授 北川 前肇



昭和元年（一九二六）十二月二十八日、当時の文部省より創立認可を受けた立正高等女学校は、翌年四月八日授業を開始し、四月二十八日創立記念式典が挙行されています。間もなく令和八年（二〇二六）には、創立百年の記念すべき年を迎えようとしています。

このような中、三年前の令和二年一月に広まったコロナ禍は世界を席卷し、社会的には多くの死者を出し、私たちの教育の現場にも大きな影響を与えました。その一つは、授業形態です。対面授業からオンラインによる変更。あるいは年中行事として大切な入学式、卒業式等の儀式も、開催中止や規模の縮小などがもたらされたのです。

このような状況下の元、私たちは短大に在籍の学生さんたち、あるいは教職員一同が叡智を集めて、新たな教育方針を打ち出すことにつとめたのです。

本学の教育理念は、法華経精神を根底に置いた「生命の尊重・慈悲・平和」ですが、この理念を具体化して、一人ひとりが自分らしさ（個性）に気づき、コミュニケーション力を身につけて、しっかりと自分の未来を描くことのできる人を目指す、ということなのです。

その成果の一つとして、令和四年十二月二十二日（木）開催の「学習発表会」に見ることができました。午前中は幼児教育専攻による発表で、第一部は東京立正保育園の園児を招待しての「演奏会」、第二部は学生による研究発表です。午後は現代コミュニケーション専攻による発表です。それぞれのクラス、ゼミの学生が諸先生方の指導のもと、主体的に発表に取り組むことで、すぐれたものとなりました。

いま、私たちの面前には種々の課題が提示されています。しかし、一つひとつに真摯に取り組む、創立百年に向けて前進したいと思っております。



# Open Campus

オープンキャンパス 予約制



## 現代コミュニケーション学科 (共学)

現代コミュニケーション専攻 幼児教育専攻  
ビジネスコース/心理コース/観光コース

### Specialオープンキャンパス Rittanフェスティバル

2023年7月29日(土)  
2024年3月20日(水)  
<時間>10:30~15:30  
「体験型プログラムを楽しもう!」  
韓国語体験授業、音楽表現体験、ミュージカル俳優によるミニライブ&トークショー、クラブ発表、クラスゼミ発表などを行います。

### オープンキャンパス

2023年4月22日(土)  
5月13日(土)  
5月28日(日)  
6月10日(土)  
6月25日(日)  
7月15日(土)  
9月17日(日)  
10月28日(土)  
11月26日(日)  
12月9日(土)  
2024年2月17日(土)  
<時間>10:30~12:00(午前の部)  
14:00~15:30(午後の部)



「気軽に参加できる!」  
キャンパス見学&個別相談  
学生スタッフによるキャンパス見学のあと、疑問や不安を解消するため、授業や入試、学生生活等について教職員がご案内します。

### オープンキャンパス (模擬授業つき)

2023年7月22日(土)  
8月6日(日)  
8月20日(日)  
8月27日(日)  
<時間>10:30~13:00  
「夏のスペシャルプログラム!」  
模擬授業付きオープンキャンパス  
現代コミュニケーション専攻・幼児教育専攻別の模擬授業では、学べることや雰囲気を知ることができます。



### Rittan探究カフェ

2023年8月11日(金)  
<時間>10:00~15:00  
「マイ社会での自分を発見するプログラム」  
「未来社会で自分らしく活躍するにはどうしたらいいの?」仲間とともにワイワイと楽しく課題解決の糸口を探るプログラム。

### 高校生のためのピアノレッスン体験

2023年5月13日(土)  
5月28日(日)  
6月10日(土)  
7月15日(土)  
<時間>13:30~15:00  
「90分のグループレッスン体験」  
得意なピアノを生かして特待生として入学したい、そのために自分の実力を知りたい方。また反対に、初心者だからピアノが心配な方。そんな受験生を対象に優しく指導します。

# 東京立正短期大学

Tokyo Risscho Junior College

〒166-0013 杉並区堀ノ内 2-41-15  
TEL 03-3313-5101 FAX 03-5377-7641  
URL <http://www.tokyorisscho.ac.jp/>



完全中高一貫プログラムのグランドデザインで  
国際社会での活躍を目指した  
真のグローバルリーダーを育てています。

まずは、学校説明会・ホームページへ。

## 2024年度入学者対象 学校説明会日程

中学校		高等学校	
2023年	4月 1日(土) — 10:00	2023年	7月 8日(土) — 14:30
	6月 7日(水) — 10:00		7月29日(土) — 10:00
	7月 8日(土) — 10:00		8月26日(土) — 10:00
	8月 5日(土) — 10:00		9月 9日(土) — 14:30
	9月16日(土) — 14:30		10月 1日(日) — 10:00
	9月30日(土) — 13:00		10月14日(土) — 14:30
	10月28日(土) — 10:00		10月28日(土) — 14:30
	11月26日(日) — 10:00		11月18日(土) — 14:30
	12月 9日(土) — 14:30		11月25日(土) — 14:30
2024年	1月13日(土) — 14:30		12月 2日(土) — 14:00

※○は中高同日説明会。☆は紫苑祭(学園祭)を予定しています。

いずれも、会場は本校です。上記日程は変更になる場合がありますので、必ず最新の日程をホームページで事前確認の上、お越し下さい。

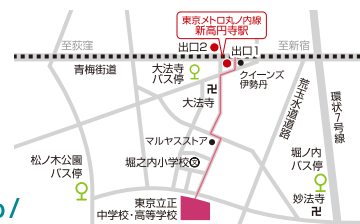


学校法人 堀之内学園

## 東京立正 中学校 高等学校

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 2-41-15  
TEL 03-3312-1111 FAX 03-3312-1620

URL <http://www.tokyorisscho.ed.jp/>



**清氷屋**

〒166-0013 杉並区堀ノ内 3-48-3 ☎03-3311-0725

【営業時間】和菓子 ◆10時～17時  
手打ち蕎麦 ◆11時～18時 (以後はご予約のみ)  
◆火曜日：11時～15時  
※いずれも蕎麦がなくなり次第終了

【定休日】和菓子 ◆火・水曜 ※三のつく日は共に営業  
手打ち蕎麦 ◆水曜 致します。(振替休日有)

**仏壇・仏具・位牌**

みす平は創業300有余年の神・仏具の専門店  
オーダーメイドでの仏壇製作から、古くなった仏壇・仏像・位牌などの修理、修復も承ります。

良品 安値!

みす平は10年後、20年後の信用を大切にします。

**神・仏具のみす平**  
株式会社みす平飛天堂

☎042-334-9981 FAX 042-334-9982  
〒183-0045 東京都府中市美好町1丁目30番地の13  
<http://www.misuhei.co.jp>

ご葬儀をご想像へ

ムラカミの安心と信頼が  
皆様の想いをサポートいたします。

ご家族葬から社葬・団体葬までご対応。  
1級葬祭ディレクターが責任を持って担当いたします。

365日24時間 自社所有の寝台車による速やかなお迎え。  
霊安室も完備しております。

葬祭業安心度調査 AAA評価 JECIA格付 ★★★★★認定

**村上葬祭 株式会社ムラカミ**

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-28-2  
<http://www.murakami-sousai.co.jp>

ご葬儀・ご法要をはじめ、ご不明な点について、  
無料でご相談にお応えいたします。  
24時間・365日ご対応 ☎0120-711-556

墓石・記念碑門塀  
諸石材工事

有 限 会 社  
マサ

**中島正石材**

〒一六六・〇〇一三 東京都杉並区堀ノ内二一三二一  
TEL 〇三(三三二二六)八八四六代  
FAX 〇三(三三二二六)八八二二

編集後記

先日、ある投稿欄に「学生の時、悪ふざけの動画をSNSに載せて楽しんでいたら、知らないうちに個人情報までも拡散して、アルバイト先をクビになり、就職活動がままならなくなったりして、挙げ句の果てには、損害賠償請求を受け、実に変な目に合いました。何年経ってもその時のことが心に残っています」と書かれていました。

今の時代は便利では有りますが、良く考えてから行動しないと、自分の言動が予想外の方向に進む事を、肝に銘じなければなりませんね。

へ後悔先に立たずです。

教雄記

教誌編集委員

委員長	小田 雄
委員	嶋田 教
	吉田 豊
	山田 理
	山形 深
	宇都宮 教
	新井 侃
	望月 慧
	望月 隆
	石川 善
	教義

はる